

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

| | |
|--|--|
| ①研究課題名 | 児童・思春期に受けた認知行動療法についての成人青年を調査対象とした後ろ向き研究 |
| ②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者 | |
| 対象：10代（未成年）で認知行動療法の臨床心理的介入を受けた経験を持つ成人 | |
| ③概要 | |
| <p>児童期から思春期の間認知行動療法の治療を受けた経験を持つ成人青年を対象に回顧的調査を行う、後ろ向き研究である。慎重に研究のねらいと意義を説明の上合意を得た協力者に、評定尺度や質問紙調査への回答、および半構造化面接を実施する。本研究は、2017年度から2021年度にかけて5年間、科学研究費（基盤研究（C）：課題番号17K04409）を受けており、その中心となる面接調査は、2018年5月から2023年11月まで、継続し、データの蓄積を行う予定である。そのため、研究協力者の候補を得るため、カルテ（相談記録）等を参照する必要がある。</p> | |
| ④申請番号 | 2017-0360 |
| ⑤研究の目的・意義 | <p>児童期から思春期の間認知行動療法の治療を受けた経験を持つ成人青年を対象に後ろ向き研究を行う。この心理療法についての未成年での体験の有り様を類型化し、その内容における差異と、介入が終了（終結）した後の経過および調査時点まで残遺する症状や生活の質との関連を検討することが目的である。</p> |
| ⑥研究期間 | 倫理審査委員会承認日から2023年3月末日まで |
| ⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。） | <p>年齢や性別、家族状況や現在までの生活歴、10代で認知行動療法を受けるに至った問題や症状、および認知行動療法介入の内容に関する当時のカルテ（相談）記録。（他機関提供はなし）</p> |
| ⑧利用または提供する情報の項目 | <p>年齢や性別、家族状況や現在までの生活歴、10代で認知行動療法を受けるに至った問題や症状、および認知行動療法介入の内容に関する当時のカルテ（相談）記録、効果判定尺度の結果。</p> |
| ⑨利用の範囲 | 研究成果の公表（科学研究費研究としておよび学術論文として） |
| ⑩試料・情報の管理について責任を有する者 | 新潟大学人文社会・教育科学系教授 神村栄一 |
| ⑪お問い合わせ先 | 025 - 262 - 7248、kamimura@ed.niigata-u.ac.jp |